

2025 年度 第 2 回 理事会報告

開催日時：2024 年 7 月 21 日（月・祝）10：00～12：00

開催場所：一般社団法人日本社会福祉学会事務局（Zoom によるオンライン開催）

I. 会長挨拶

定刻となり、和気純子会長より挨拶があった。

II. 理事会開会宣言（欠席理事の確認）

出席者全員がオンライン参加による WEB 会議の開催に際して、音声に問題なく、出席者が一堂に会するのと同等の意思表示が互いにできる状態にあり、議事進行に支障がないことを確認した。

定款第 42 条に基づいて和気会長が議長となり、出席理事および欠席理事を確認した。定款第 43 条に規定されている要件を充足したため、「2025 年度第 2 回理事会」を開催するとの宣言があった。なお、定款第 47 条に則り、議事録署名人として和気会長、大島監事、岡部監事を選出した。

III. 審議事項

第 1 号議案 入会審査

総務担当金子（充）理事より配付資料に基づき説明があった。審議の結果、30 名全員の入会が満場一致で承認された。

第 2 号議案 選挙管理委員会の設置および委員の選出

総務担当金子（充）理事より配付資料に基づき説明があり、姜民護会員、高橋順一会員、洪心璐会員、勝又健太会員の 4 名を委員とし、金子（光）副会長を担当理事とする第 9 期代議員選挙管理委員会の設置および委員の選出が、満場一致で承認された。

第 3 号議案 学会賞審査委員の再任手続きおよび新任の選出

総務担当金子（充）理事より、第 73 回秋季大会をもって任期満了となる委員に代わり、新委員候補者 5 名より内諾を得ているとの説明があり、満場一致で承認された。残る 1 名の委員については、内諾を得られ次第、理事会メーリングリストでのメール審議を経て承認することとなった。

第 4 号議案 学会賞授賞候補作について

学会賞審査委員会担当今井理事より、2024 年度学会賞の審査経過および授賞候補作について配付資料に基づき説明があり、審議した結果、今年度の学会賞授賞が満場一致で承認された。

第 5 号議案 Zoom 契約更新について

総務担当金子（充）理事より配付資料に基づき説明があり、運営委員会より NEC ネットスエスアイを代理店として Zoom Pro ライセンスの契約を更新する方針が提示された。地域ブロックで使用する独自ライ

センスの要否について、各地域ブロックで検討することが満場一致で承認された。

第 6 号議案 『社会福祉学事典』(丸善出版) 第 2 版の企画について

内容を全面的に刷新する『社会福祉学事典』第 2 版の企画書が丸善出版より提示された。完成に 2 年半を要する大規模企画であるため、今期体制での対応は困難と判断し、次期体制下で委員会を設置するなど改めて検討する方針が満場一致で承認された。

第 7 号議案 その他

その他の審議事項は特になし。

IV. 報告事項

1. 2025 年度会員動向

総務担当金子(充)理事より、2025 年度の会員動向について配付資料に基づき報告があった。

2. 2025 年度定時社員総会報告

総務担当金子(充)理事より、2025 年 5 月 25 日に開催された 2025 年度定時社員総会での出席者数および議事録について配付資料に基づき報告があった。

3. 全国大会運営委員会からの報告

研究担当山田理事より、各行事の準備状況等について配布資料に基づき報告があった。

4. 機関誌編集委員会からの報告

機関誌編集担当堀理事より配付資料に基づき、機関誌『社会福祉学』の論文投稿受付・審査および編集状況について報告があった。二重投稿規程の策定について、博士論文は原則として既発表論文に含めるが、ケースバイケースで判断する方針で合意した。

5. 国際学術交流促進委員会からの報告

国際学術交流促進委員会担当の本郷副会長より、第 73 回秋季大会において韓国から 4 グループの申し込みがあったとの報告があった。

日中韓三か国の国際学術交流のため、10 月 17 日・18 日に幹事国である韓国・中央大学校へ和気会長、本郷副会長および通訳として孔委員の 3 名が訪問する予定である。

6. 学会賞審査委員会からの報告

学会賞審査委員会担当今井理事より、今年度の学会賞の審査経過について配付資料に基づき報告があった。また、第 73 回秋季大会の開会式に引き続いて執り行われる学会賞授賞式、および当日に向けてのスケジュールを確認した。

7. 研究倫理委員会からの報告

研究倫理委員会担当中村理事より、現在進行中の調査案件はないとの報告があった。

8. 広報委員会からの報告

広報委員会担当岩永理事より、学会ニュース 99 号が 7 月 11 日に公開されたとの報告があった。100 号記念事業として作成された学会案内チラシを秋季大会会場で配布することとした。

9. アーカイブ化推進委員会からの報告

アーカイブ化推進委員会担当元村理事より、学会ホームページに未掲載の大会要旨集についてスキャンしたデータを掲載する予定であったが、個人情報保護や研究倫理の観点で問題がある可能性が指摘され、委員会で確認することにしたとの報告があった。

10. 研究支援委員会からの報告

研究支援委員会担当山野理事より、第 73 回秋季大会にて初期キャリア研究者研究交流会を開催予定であること、今年度中に 3 回のサロンを開催予定との報告があった。1 回目は 9 月 14 日に関西大学梅田キャンパスにてハイブリッドで「社会福祉学の研究者にできるソーシャルインパクトのやり方を考える」をテーマに実施予定である。

11. 学会基本構想委員会からの報告

総務担当金子（充）理事より、全国大会への高校生・大学生の参加について検討を進めており、関連学会の大会視察の結果、地元の学生らの参加が見込めることが確認されたとの報告があった。研究倫理面の課題も含め、今後検討を進めることとした。

12. 地域ブロックからの報告

- ・北海道地域ブロック：6 月 25 日にオンラインで総会を開催した。9 月 6 日にシンポジウム・研究大会をオンラインで開催予定である。
- ・東北地域ブロック：第 24 回研究大会を 7 月 27 日に秋田県社会福祉会館で開催予定。また、東北地域ブロックで担当する 2027 年度第 75 回秋季大会を次年度からの新体制下で実施する。
- ・関東地域ブロック：2026 年 3 月 22 日に 2025 年度研究大会をオンラインで開催予定。
- ・中部地域ブロック：5 月 18 日に 2025 年度研究例会を開催した。8 月 30 日にキャリア研究者のための勉強会を開催予定。
- ・関西地域ブロック：若手研究者・院生情報交換会を年 3 回開催する予定で企画および準備を進めている。第 1 回は 10 月 18 日に大阪公立大学「I-site なんば」にて「共同研究」をテーマとして開催予定。2025 年度年次大会は 2026 年 3 月 8 日に花園大学で開催予定である。
- ・中国四国地域ブロック：7 月 12 日に第 56 回愛媛大会を聖カタリナ大学市駅キャンパスにて開催した。「中国・四国地域ブロック会報」25-1 号を 9 月に、『中国・四国社会福祉研究』13 号を 12 月に発行予定。会員連携の共同研究を実施している。
- ・九州地域ブロック：運営委員会にて 2025 年度九州地域ブロック研究大会について協議、確認を行った。さらに 2026 年度以降の研究大会校等について協議し、西南女学院大学に承認を得た。

13. その他（後援依頼、関連団体からの報告、他）

◆後援（協賛）依頼について

総務担当金子（充）理事より、過年度の実績により 2 件の後援依頼に承諾したとの報告があった。

◆関連団体からの報告

1) 日本社会福祉系学会連合

宇都宮理事より配付資料に基づき報告があった。2025 年 5 月 25 日正午より、立教大学池袋キャンパスにて総会を開催したとの報告があった。例年通り、2024 年度事業報告および決算報告、2025 年度事業計画および予算案について説明し、承認を得た。災害福祉アーカイブの充実に注力する予定である。

8 月 21 日（木）に 2025 年度第 1 回運営委員会を開催予定。

2) ソーシャルケアサービス研究協議会

本郷副会長より、日本地域福祉研究所より「コミュニティソーシャルワーク実践者養成研修基礎編 STEP1 及び STEP2」開催にあたり後援依頼があり、承認されたとの報告があった。

3) 社会政策関連学会協議会

報告事項は特になし。

4) 社会学系コンソーシアム

報告事項は特になし。

5) 人文社会科学系学協会男女共同参画推進連絡会：GEAHSS（ギース）

堅田理事より、2025 年 10 月より本学会が幹事学会となるが、幹事学会の事務業務について現幹事学会に確認したところ、GEAHSS 内部で実施しており国際文献社への業務委託のための予算措置は不要との説明があった。例年 3 月に実施しているシンポジウムの企画・講師などについて改めて相談する予定である。

6) 人文社会系学協会連合連絡会

日本学術会議会員の任命拒否問題の折に発足した人文社会系学協会連合連絡会のメーリングリストがあり、現在 47 の学協会が加盟している。持ち回りで管理者を担当することになっており、2021 年 9 月から本学会が担当し、そのままになっていたため、先日和気会長より次の日本社会学会に連絡を取り、今年 8 月末頃に引き継ぐ予定である。

7) 日本ソーシャルワーク教育学校連盟

金子（光）副会長が日本社会福祉系学会連合会長として理事に選任されていたが、今年 6 月の総会にて理事に選任されないこととなったとの報告があった。

議長は、議事終了を告げ、12 時 00 分に理事会を解散した。

以上